

土壌に由来する非結球葉菜類の生理障害の実態解明と対策

【背景と目的】

非結球葉菜類生産圃場で発生している土壌由来の生理障害について、都内における発生実態および原因を明らかにするとともに、土壌および肥培管理改善による障害の発生状況や土壌の理化学性の変化を検証し、対策技術を確立する。

【研究概要】

（１）非結球葉菜類の生理障害の現地実態調査

- ・非結球葉菜類(コマツナ、ホウレンソウ等)の生産者圃場を調査し、都内における生理障害の発生割合、状況を把握する。
- ・障害発生圃場の土壌理化学性や作物体中成分等を分析し、原因を推定する。

（２）土壌管理改善・対策による土壌理化学性変化の検証

- ・生理障害発生圃場へ推定に基づく対策を実施し、生理障害の改善状況や土壌理化学性の変化を経時的に調査する。
- ・発生割合が高い生理障害に対し、再現・対策試験を実施する。

（３）非結球葉菜類の生理障害対策事例集の構築

- ・障害と対策について事例集を構築し、HP 等で情報発信する。